

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月28日 (2018.6.28)

【公開番号】特開2018-65821(P2018-65821A)

【公開日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-218514(P2017-218514)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 14/025 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/39 Z N A

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 14/025

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月16日 (2018.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カチオン性脂質粒子と、抗原ミセルとを含む、ワクチン製剤であって、
前記粒子は抗原を含まず、前記抗原ミセルは脂質を含まず、投与の前に互いに混合される、ワクチン製剤。

【請求項 2】

前記カチオン性脂質は、免疫調節剤である、請求項 1 に記載のワクチン製剤。

【請求項 3】

前記カチオン性脂質は、D O T A P、D O T M A、D O E P C、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 に記載のワクチン製剤。

【請求項 4】

前記カチオン性脂質は、D O T A Pである、請求項 3 に記載のワクチン製剤。

【請求項 5】

前記脂質は、カチオン性脂質のエナンチオマーである、請求項 1 または 2 に記載のワクチン製剤。

【請求項 6】

前記エナンチオマーは、R-DOTAPである、請求項 5 に記載のワクチン製剤。

【請求項 7】

前記抗原ミセルは、管状構造、球状構造、または二重層構造のうち少なくとも 1 つを含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のワクチン製剤。

【請求項 8】

前記抗原ミセルは、二重層構造を含む、請求項 7 に記載のワクチン製剤。

【請求項 9】

前記抗原ミセルは、癌抗原、ウイルス抗原、細菌抗原、および病原性抗原からなる群から選択される 1 種または 2 種以上の抗原を含む、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載のワクチン製剤。

【請求項 10】

少なくとも 1 種の抗原は、HPVタンパク質またはペプチドである、請求項 9 に記載のワクチン製剤。

【請求項 11】

前記抗原ミセルは、ペプチド抗原を含む、請求項 9 に記載のワクチン製剤。

【請求項 12】

少なくとも 1 種の抗原は、メラノーマ抗原である、請求項 9 から 11 のいずれか 1 項に記載のワクチン製剤。

【請求項 13】

1 種または 2 種以上の抗原は、前記抗原の疎水性を高めるまたは低減させるよう修飾された抗原である、請求項 9 から 12 のいずれか 1 項に記載のワクチン製剤。

【請求項 14】

少なくとも 1 種の抗原は、RAHYNIVTF（配列番号 1）、GQAEPDRAHYNIVTF（配列番号 2）、KSSGQAEPDRAHYNIVTF（配列番号 3）、YMLDLQPETT（配列番号 4）、KSSYMLDLQPETT（配列番号 5）、KSSMHGDTPTLHEYMLDLQPETT（配列番号 6）、KSSLLMGTGLGIVCPICSQKP（配列番号 7）、KVPRNQDWL（配列番号 8）、SYVDFVWL（配列番号 9）、KYICNSSCM（配列番号 10）、KSSKVPRNQDWL（配列番号 11）からなる群から選択される、請求項 9 から 13 のいずれか 1 項に記載のワクチン製剤。

【請求項 15】

前記抗原ミセルは、1 つ以上の修飾された抗原を含む、請求項 1 に記載のワクチン製剤。

【請求項 16】

哺乳動物における疾患の治療のためのワクチン製剤の製造におけるカチオン性脂質粒子と抗原ミセルを使用する方法であって、

前記粒子は抗原を含まず、前記抗原ミセルは脂質を含まない、方法。

【請求項 17】

前記カチオン性脂質は、免疫調節剤である、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記カチオン性脂質は、アジュバントである、請求項 16 または 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記カチオン性脂質は、DOTAP、DOTMA、DOEPC、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記カチオン性脂質は、DOTAPである、請求項 18 または 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記脂質は、カチオン性脂質のエナンチオマーである、請求項 16 または 17 に記載の方法。

【請求項 22】

前記エナンチオマーは、R-DOTAPである、請求項 21 に記載の方法。

【請求項 23】

前記抗原ミセルは、管状構造、球状構造、または二重層構造のうち少なくとも１つを含む、請求項 16 から 22 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 24】

前記抗原ミセルは、二重層構造を含む、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 25】

前記抗原ミセルは、癌抗原、ウイルス抗原、細菌抗原、および病原性抗原からなる群から選択される 1 種または 2 種以上の抗原を含む、請求項 16 から 24 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 26】

少なくとも 1 種の抗原は、HPV タンパク質またはペプチドである、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】

少なくとも 1 種の抗原は、メラノーマ抗原である、請求項 25 または 26 に記載の方法。

【請求項 28】

1 種または 2 種以上の抗原は、前記抗原の疎水性を高めるまたは低減させるよう修飾された抗原である、請求項 25 から 27 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 29】

少なくとも 1 種の抗原は、RAHYNIVTF (配列番号 1)、GQAEPDRAHYNIVTF (配列番号 2)、KSSGQAEPDRAHYNIVTF (配列番号 3)、YMLDLQPETT (配列番号 4)、KSSYMLDLQPETT (配列番号 5)、KSSMHGDTPTLHEYMLDLQPETT (配列番号 6)、KSSLLMGTLGIVCPICSQKP (配列番号 7)、KVPRNQDWL (配列番号 8)、SYVDFVWL (配列番号 9)、KYICNSSCM (配列番号 10)、および KSSKVPRNQDWL (配列番号 11) からなる群から選択される、請求項 25 から 28 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 30】

前記抗原ミセルは、1 つ以上の修飾された抗原を含む、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 31】

前記抗原ミセルは、ペプチド抗原を含む、請求項 16 に記載の方法。